

2017年8月7日

株式会社インプレスR&D

<http://nextpublishing.jp/>

ECMAScript2017 による JavaScript 開発の最新動向を学ぶ！

『最新 JavaScript 開発～ES2017 対応モダンプログラミング』発行

「技術書典シリーズ」第一弾書籍！

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『最新 JavaScript 開発～ES2017 対応モダンプログラミング』(著者:佐々木 俊介)を発行いたします。

『最新JavaScript開発～ES2017対応モダンプログラミング』

<http://nextpublishing.jp/isbn/9784844397885>



著者:佐々木 俊介

小売希望価格:電子書籍版 1000 円(税別)／印刷書籍版 1500 円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3／Kindle Format8

印刷書籍版仕様:B5 判／モノクロ／本文 98 ページ

ISBN:978-4-8443-9788-5

発行:インプレス R&D

### << 発行主旨・内容紹介 >>

【技術書典シリーズ第一弾！ECMAScript2017 の最新チュートリアルガイド！】

技術書典は、ソフトウェアやネットワーク、ハードウェアなどテーマを技術分野に特化した同人誌頒布イベントです。2017年4月に行われた「技術書典2」は、参加サークル数195、来場者数3400人を数える大規模イベントとなっています。

本書は技術系同人誌即売会「技術書典2」で頒布された書籍を底本とし、加筆・修正を行ったもので、「技術書典シリーズ」の第一弾となります。新世代の Javascript である ES2017 のチュートリアルガイドです。Node.js などに見られるように Web サービス開発に於ける共通言語となっている Javascript の中でも標準的な仕様である ECMAScript2017 によるプログラミング手法を基礎から学習することができます。



## Appendix JavaScriptの歩き方

本書ではJavaScriptについて、学習の目的、コミュニティ、類などについて紹介してきました。ここでは目録として、JavaScriptの歩き方としてのポイントを紹介します。

### A.1 できる限り公式ドキュメントを読む

一番重要なポイントは、JavaScriptで資料を読む場合、できる限り公式ドキュメントを読むことです。Node.jsの目録であれば<https://nodejs.org/>ですし、Reactであれば<https://facebook.github.io/react/docs/>です。

ECMAScriptの仕様を調べる際、MDN (Mozilla Developer Network) はある程度最新ですが、やはり公式ドキュメントであるECMAScriptの仕様書を読むのが一番確実です。日本人が作ったプロダクトならともかく、これについては真偽です。日本語版にも一部ありますが、あまりお勧めしません。なぜなら、ほとんどの日本語版は公式のものになっていないためです。もちろんもちろん最新版に追いついていないプロダクトなら日本語版を読むのも一つの手法ですが、サードパーティで最新のドキュメントを翻訳している事例は多いです。やはり古い翻訳などもあり、むしろ気を遣わなくてはいけません。

ましてやJavaScriptは数多くの言語の中でも特に開発が活発な言語であり、さまざまな新機能やフレームワークやライブラリが生まれ続けている状態なので、翻訳が追いついていないものが多くあります。翻訳をして日本語版がなかった場合は最新を翻訳した方が良いでしょう。JavaScriptの場合がJavaScriptHubでホストされているため、更新を待つことがなくても大丈夫です。最新バージョンに更新を待たずにアップデートのたびに新しいバージョンをインストールする、もしくはGitHub.comのような公開サービスでMDNにアクセスできるバージョンを使用するでしょう。

公式以外のドキュメントと混同しない。オープンソースプロダクトならソースコードも読めます。大手のプロダクトはGitHubでホストされていることから、GitHubをよく参照することになります。GitHubではソースコード以外にもIssueやWikiがあります。自分のところまで来たところから、そのIssueで取り上げられているということがあります。

英語が苦手な人はGoogle翻訳やDeepL、ChatGPTにも頼り得る場合があります。最近のニューラルネットワークも驚いたほどの翻訳精度はレベルアップを期待して大丈夫です。

### A.2 公式以外なら

公式以外に読む場合は、stack overflowやQ&AやJavaScriptでしょうが、stackoverflowはナ

ンゲル問題で検索するとよくヒットします。Q&Aは日本語でまとめたQ&Aや集としての価値があります。JavaScriptはJavaScriptの理解を促しているものが多いので、JavaScriptについて検索するうえでも活用です。

stackoverflowは検索精度がたまたま高くなることもありますが、Q&Aは必ずしも最新なものがありません。その点へは注意した上でアクセスを適度に控えておくと良いでしょう。

検索をする際には、「js」とか「jsa」という検索ワードを追加すると絞り込みやすくなります。言語仕様に関する情報は最近で、バージョンにまつわる情報は最近でいい、ECMAScriptの新しい仕様ならES2021、ES2024、ES2027といった検索ワードも有効でしょう。stackoverflowなどは近年に更新された情報のため、その絞り込みが重要になってきます。

SNSを活用するのも一つの手法ですが、Twitterの場合、あるJavaScriptの話題が盛り上がりつつあると推測できます。むしろ別の話題をしている人が大半のため、全文は読まないでいい方が良いでしょう。

Podcastを聞くというのも良い方法です。audioがYouTubeにアップロードされているものが多いので、これを使うのはJavaScriptというキーワードが検索できるので、検索はそもそもJavaScriptの話題があるとは限りません。

### A.3 技術選定には注意する

技術選定はJavaScriptに限らず難しいものですが、JavaScriptは人気が最も高い言語の新しい技術であるため、他の技術よりも新しい傾向があります。実際のところ、いろいろなフレームワークやライブラリが生まれ続けている状態です。そのため、できる限り技術選定の際には新しい技術を採用して考えるべきです。新しい技術を採用する場合は、古いものも簡単に最近の技術と同等の性能を発揮していることを確認しておくべきです。

スタートアップ企業としてある人が選択する技術の生き残る確率は高くない。むしろ他方の誰かが他社を買収して入ったところで乗り換えは簡単に行われる可能性がある。技術力の高さを証明し、その人が選択する技術の技術性にあまり依存しない。これを怠ると失敗することになりかねないです。

そのため、JavaScriptでうまくやっていくためには、いかなる技術の乗り換えができるように技術のメンテナンス意識を上げておくべきです。

あとは基礎が重要で、基礎をしっかりと固めておけば、他の乗り換えもそんなに大変ではありません。技術選定としてうまくやっていくなら、JavaScript以外の知識も重要になります。JavaScriptは多言語から影響を受けたマルチパラダイム言語であるため、他の言語を触るというのはトクになりやすいです。

基礎知識の高さとしては、他の種からより先にできるよりは、より汎用的な方法や多言語の知識を得ること重視すべきです。マルチパラダイムな言語の利点の多くは他の言語で

## << 目次 >>

### はじめに

#### なぜJavaScriptなのか？

#### JavaScriptをもっと知ってもらうために

### 第1章 JavaScript 解説

- 1.1 ECMAScript
- 1.2 Node.js
- 1.3 JavaScript の使われ方とその問題
- 1.4 JavaScript の応用例
- 1.5 他にも
- 1.6 JavaScript エンジニアとしてのキャリア
- 1.7 まとめ

### 第2章 JavaScript の始め方

- 2.1 Node.js のインストール
- 2.2 npm
- 2.3 トランスパイラ
- 2.4 バンドラ
- 2.5 推奨パッケージ
- 2.6 Visual Studio Code

### 第3章 ECMAScript

- 3.1 コメント
- 3.2 変数
- 3.3 関数
- 3.4 型とリテラル

- 3.5 制御構文
- 3.6 例外
- 3.7 class
- 3.8 便利な演算子・構文
- 3.9 モジュール
- 3.10 非同期プログラミング

#### 第4章 型の恩恵をうける

- 4.1 Flow

#### 第5章 ユニットテストをしよう

- 5.1 AVA
- 5.2 TDD
- 5.3 ウェブブラウザ向けの開発におけるテスト

#### Appendix JavaScript の歩き方

- A.1 できる限り公式ドキュメントを読む
- A.2 公式以外なら
- A.3 技術選定には注意する
- A.4 エンジニアが身につけるべき基礎力

### << 著者紹介 >>

佐々木 俊介

高校生のときにパソコンにハマリ、その後紆余曲折を経てテキストエディタや MSX エミュレータその他を開発。技術者として勤務した後、現在はフリーで Javascript 関連のプログラマー。

### << 販売ストア >>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イブックスストア、Apple iBookstore、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

### 【株式会社インプレス R&D】 <http://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井芹昌信）は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

### 【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>



株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開し

ています。2017年4月1日に創設25周年を迎えました。

**【お問い合わせ先】**

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)